

決算特別委員会における質疑項目

- ① 水道事業会計
区域外給水の状況及び解消について
- ② 民生費
発達障害児地域療育システム整備事業にかかる事業内容、不執行の理由、大阪府からの権限移譲による影響等、さらに本市の発達障害児の現状、及び相談窓口と各課の連携等について
- ③ 衛生費
脳ドック事業に対して、受診者数の変遷、及び事業の広報活動、受診勧奨について
- ④ 教育費
奨学基金の運用状況、奨学金制度存続に向けた滞納対策及び対象枠拡大等について

- ⑤ 総務費
公用車におけるカーシェアリングの検討について
- ⑥ 土木費
狭あい道路整備補助事業の内容と実績、及び事業効果と補助要件、並びに市民への周知について
- ⑦ 国民健康保険特別会計
特定健康診査の受診率向上に向けた取り組みについて

実績 平成24年3月議会においても東日本大震災の教訓から、松原市防災会議における女性委員の増員を要望。
24年6月1日から女性委員が1人から3人に増員され、今議会において松原市防災会議30人の委員数を35人に増員、可決されました。

ご要望が実現しました!!



中央環状線柴垣2丁目と立部3丁目東西の歩道整備



上田3丁目通学路の整備（横断歩道の設置）



中央環状線西大塚東歩道整備



どんな事でも、お気軽にご相談ください!!

三重松
みえまつ
きよこ
清子

連絡先

■ 334-1550(代)(松原市役所) 内線2361(公明党議員控室)
■&■ 333-1478(自宅)

NEW KOMEITO 公明党 松原市議会議員・三重松 清子

まわし通信

第18号 2012年秋号

発行責任者:三重松 清子 後援会

〒580-0017 松原市柴垣1丁目9-13 TEL&FAX(072)333-1478

みなさま、こんにちは!! 三重松 清子です。

菊薫る季節になりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか?

みなさまご存じのように、今年のノーベル医学・生理学賞が、京都大学の山中伸弥教授に贈られることが決まりました。「iPS細胞（人工多能性幹細胞）」を世界で初めて開発した業績が高く評価されたもので、その栄誉を心からお祝い申し上げます。この朗報に日本中が沸きました。東日本大震災や経済状況の悪化、外交問題と沈みがちな日本社会にとって明るいニュースとなりました。病気と日々闘わされている患者さんにとっても光明が射してきました。

今後は規制緩和や法整備を進め、実用化に向けた支援が必要です。公明党は、自公政権下で科学技術振興予算の大幅増額を実現し、iPS細胞の研究などを後押ししてきました。資源が乏しい日本にとって、科学技術への投資は極めて重要であります。生命を守る公明党は、“夢の医療”前進へ、今後も全力を挙げていきます。

平成24年9月議会個人質問

今、我が国は世界に類をみない速さで高齢化が進んでいます。100歳以上の高齢者は、9月15日時点で前年比3,620人増の5万1379人となり、42年連続過去最多を更新し、初めて5万人を超えた。

日本人の健康寿命は女性73.62歳、男性70.42歳と平均寿命と比較すると、男女とも10歳前後の差があります。この差を縮めるための取り組みが大切です。2010年の厚生労働省の調査によると大阪府民の健康寿命は、47都道府県中男性44位、女性45位と厳しい現状のこと。

本市においても65歳以上の方が人口の25%を占め、今や4人に1人が元希者の方々

です。元希者クラブでは、大阪の底上げをと体力測定を実施。先ず、自身の体力を知ることから無理なく、維持向上へつなげるための運動を通して、健康寿命の延伸に取り組んでくださっています。

また、認知症の患者さんも急増し、認知症の高齢者は200万人を超え、2030年には、353万人に増加すると予想されています。認知症は、早期に治療すれば改善の可能性が高いと言われています。早期発見が重要です。高齢になっても、一人暮らしになっても住み慣れたまち松原で住み続けて頂くための取り組みについて質問しました。

(次頁へ)